

公募：絵画・彫刻・工芸

第一美術協会 第46回 湘南支部展

2024・9月24日(火)～9月30日(月)

*24日(火)は午後3:00開場
午前10:00～午後5:00(最終日16:00まで)
会場 横浜市民ギャラリー
後援 横浜市
横浜市教育委員会
神奈川新聞社

第一美術協会 第46回 湘南支部展

会期：2024年9月24日(火)-30日(月)

場所：横浜市民ギャラリー

出品者数：29名(うち、一般5名)

作品数：106点(絵画：101点、工芸：4点、彫刻：1点)

来場者数：909名

● 受賞作品



第一美術協会本部賞

「百合のある静物」 P100 油彩

根本久恵

ボリュームと安定性を感じるバランスの取れた構図の作品である。百合の花びら、おしべ/めしべの間に空気を感じさせる表現は見事である。赤いリンゴが画面を効果的に引き締めている。



支部展賞

「Limit」 F100 ミックス

滝沢武道

洗濯機の水溜まりに埋もれる玩具と空き缶、ここから抜け出すことができるのだろうかという鑑賞者に問いかけているかのような作品である。芸術に与えられた使命を果たそうとする作者の想いが感じられる。



横浜市長賞

「廃船(1)」 F30 水彩

川戸清爾

色彩が朽ち果てる廃船を生々しく表現している。遠景の寒々とした空が、残されたものとの縁切りをするような寂しさを感じる。心に訴える作品である。



横浜市教育委員会賞

「古樹」 F50 油彩

尾山利之

幾多の時代を乗り越え、傷つきながらも悠然と生き続ける重さを感じる作品である。無数の小枝が永遠の生命力を表現している。前景から遠景に回り込む軸が効果的であり、空、遠景の樹木もバランスの良い優れた作品である。



神奈川新聞社賞

「魅せられて」 F80 油彩

矢後幸子

アジア民族のしとやかさと神秘性が表現された作品である。言葉では言い表せない魅力を感じる。



優秀賞

「無題」 F50 アクリル

当麻功

運河のあるビル街を色彩で観念的に捉え、デフォルメされた構図と色のバランスが絶妙な作品である。肩の力を抜けさせてくれる。



奨励賞

「イブのおくりもの」 F8 水彩

酒井波子

思いやりのある優しさを感じさせる完成度の高い作品である。ランプに光がないにも拘わらず、灯されているような印象を受ける心温まる作品である。



奨励賞

「はじまりの日」 F10 ちぎり絵

友谷洋子

レースを両脇にコラージュして、始まりの日を赤系のお花で祝福していると感じる作品である。お花の配色のバランスがとても良い。



マツダ賞

「天王桜ライトアップ」 F12 水彩

久田妙子

闇夜にライトアップされた桜の周りで子供たちが見上げているが、桜の中に包まれていきそうな感じがして、ご本人の包容力が表現された温かみのある作品である。



クサカベ賞

「花かおる」 F12 水彩

坂井洋子

たくさんのお花に囲まれて、屋下がりのテラスでゆっくり時間を楽しみたくなるような印象の作品である。優しい日差しが心地よい。



クサカベ賞

「たまねぎ」 F10 水彩

小島久美子

いただき物か、家庭菜園の収穫物かはわからないが、恵の幸の喜びが感じられる作品である。レンガや紙袋の表現も効果的である。

<展示作品>







